

新研修生の皆様へ

競技ゴルファーとしての主なエチケット/マナーについて

研修会委員長 廣澤 幹久

エチケット/マナーについては、

① 身だしなみ/振る舞い/ 気遣い ② 挨拶 ③プレーファースト ④コースの保全
の4項目において、同伴競技者及びゴルフクラブの邪魔にならない、迷惑にならない、全ての人が気持ちよくプレーができる“気遣い”を実行することであると考えています。過去に学んだ経験から以下に来場時からの時系列に沿って説明いたしますので参考にいただければ幸いです。

1. ゴルフクラブのクラブハウスに来場(退場)する時は、ブレザー(上着)を着用し(Tシャツ、ジーンズはNG)革靴(スニーカーや運動靴、ゴルフシューズはNG)を履いて入場(退場)しましょう。

プレー時の服装については、来場クラブのドレスコードをあらかじめ確認しそれに合わせましょう。

(夏期の短パン使用時のソックスはくるぶしが隠ればよいとされているが、膝までのロングソックスを推奨しているクラブがあるので特に注意又、夏期は襟付きのシャツを推奨しています。

冬期の折り返し付き丸首のシャツについては折り返し付き部分が4センチメートル以上なければならぬので注意。) **【身だしなみ】**

2. クラブハウスに到着したら、知っている方はもちろん知らない方にも“おはようございます”とこちらから、積極的に挨拶ができるよう心がけましょう。
朝のスタート時に自分の順番でティーグラウンドに上がった後、ティーショットをする前に同伴競技者に対し、皆で今日一日気持ちよくゴルフができるよう願いを込めて“よろしくお祈りします！”と挨拶しましょう。
昼休み後のスタート時も同様に“後半もよろしくお祈りします！”と挨拶しましょう。
プレー終了後には感謝をこめて“ありがとうございました”と挨拶しましょう。 **【挨拶】**

3. 同伴競技者がティーショットをする際に、絶対後方には立たず、ティーグラウンドの外の横側に立ち(打つ者の背中側がベスト)、物音を立てずに待ちましょう。 **【気遣い】**

4. ティーショットを全員が打ち終わり、セカンドに向けて歩き出す時、ティーグラウンドを横切って歩いてはいけません。必ずラフやカート道を歩きましょう。また、急斜面や急傾斜している部分(崩れる恐れがある)は、コースを痛める可能性があるため、なるべく緩やかな斜面を歩くようにしましょう。 **【コース保全】**

5. 移動中、あまり“無駄話”はせず、黙って次の一打に集中する為の準備をしながら、なるべく早く歩くことを心がけましょう。 **【プレーファースト】**

6. ボールの近くに行く前に、だいたいの距離を把握して、あらかじめクラブを2~3本持ってからボールの所に行きましょう。(ボールの所に行ってから距離を把握しクラブを取りに行く事は、プレーが遅くなるので絶対やめましょう) **【プレーファースト】**

7. ボールを見つけるための時間を長く使ったり、ミスショットを繰り返し同伴競技者を長く待たせることになってしまったら、まず自分自身がいつもよりも速く移動し(走るとか)プレーファーストを率先する。(同伴競技者はこんな時かわいそうで“遅いよ、早くして”とは言えないが、何やってんだよ！早くしてよ！とは思っています)

そのホールが終了したら、素直にお詫びをしましょう。

※ボールを見つける時間はルールで5分間と規定されている。したがって、ボールを見つける時間は5分間の権利があるが、5分間使ったら、そのプレーヤーはその組全体のプレーを5分間早くする義務があることを認識しましょう。

ミスショットでプレーが遅れるのはプレーヤーの権利であるが、遅れた時間を早めるのはプレーヤーの義務であるということです。 **【プレーファースト】【気遣い】**

8. グリーン上に上がってボールをマークしたら、自分自身のボールマークはもちろんもう一つぐらいの修理をすることを心がけましょう。但し、プレーが遅くなっている時は、自身のものだけでよいです。 **【コース保全】**

9. 同伴競技者がパターのアドレスの準備に入った時点で、ライン上の前後には絶対立ってはいけません。また、動かず止まって物音をたててはいけません。 **【気遣い】**

アドレスからボールを打つまでの時間は止まらなければならないが、それ以外の時間を有効に使って、あらかじめ自分のラインを読んだり、強さを考えたりし準備をしておきましょう。自分のパターの順番が来てからカップの向こう側にいたり考え込んだりすることは避けましょう。

【プレーファースト】

また、同伴競技者のラインを踏んだり、またいだりしてはいけません。マークの後ろを廻りましょう。さらに、ラインはマークからカップまでだけではありません。カップを過ぎた1メートル程まではラインであることを認識しましょう。カップインしたボールを拾い上げる時など注意しましょう。

【気遣い】

10. 1番先にカップインした者は、必ず“旗持ち”をしましょう。また、2番目にカップインした者が、1番にカップインした者より明らかに若い者の場合や、女性であった場合には、2番目にカップインした者が“旗持ち”を代わりましょう。 **【気遣い】**

また、プレーが遅くなっている場合、次のホールのティーショットが1番の者が、“旗持ち”をしていた場合、だれでもよいので旗持ちを代わり、その者をグリーンより立ち去ることを告げて、次のホールのティーショットを準備してもらおう事を率先して行うようにしましょう。

【プレーファースト】

11. パー3のショートホールなどで、前組がプレーをしていて自分たちのティーショットまで時間が十分あるときは、率先してティーグラウンドの目土を行いコースの修繕に努めましょう。(自分がプレーした時のコースコンディションよりも、自分がプレーした後の方が、コースコンディションが良くなることを目指し心がけましょう)

【コース保全】

12. クラブハウスに入っても、紳士。淑女の振る舞いに心がけましょう。

(洗面所の周りにこぼれた水しぶきを拭く、レストランなど大声で話さない 等) **【振る舞い】**

13. クラブハウスは招かれたお宅と考えましょう。入るときに帽子やサンバイザーは必ず取りましょう。また、雨天時に着用したカッパ等は入る前に必ず脱ぎましょう。上だけ脱いでもいけません。全て脱いで、乾燥室などに収納してクラブハウスに入りましょう。

【身だしなみ】

※ 今年度の研修会テーマであるエチケット・マナーについて、

この資料をベースにすすめたいと思います。

研修会開始前にあらかじめご一読いただき、ミーティングにてご意見を賜りたく存じます。

市の研修会として、この資料をより充実させ、エチケット・マナーのマニュアルとして作成できればと考えておりますので何卒ご理解とご協力をいただきたくお願い申し上げます。